

共同利用施設 個別施設計画

1. 個別施設計画 背景と目的

- (1) 背景と目的
- (2) 個別施設計画の位置づけ
- (3) 個別施設計画の対象施設
- (4) 個別施設計画の対象期間

2. 様式の見方

様式1

様式2

様式3

3. 共同利用施設 個別施設計画

様式1

様式2

様式3

個別施設計画 背景と目的

(1) 背景と目的

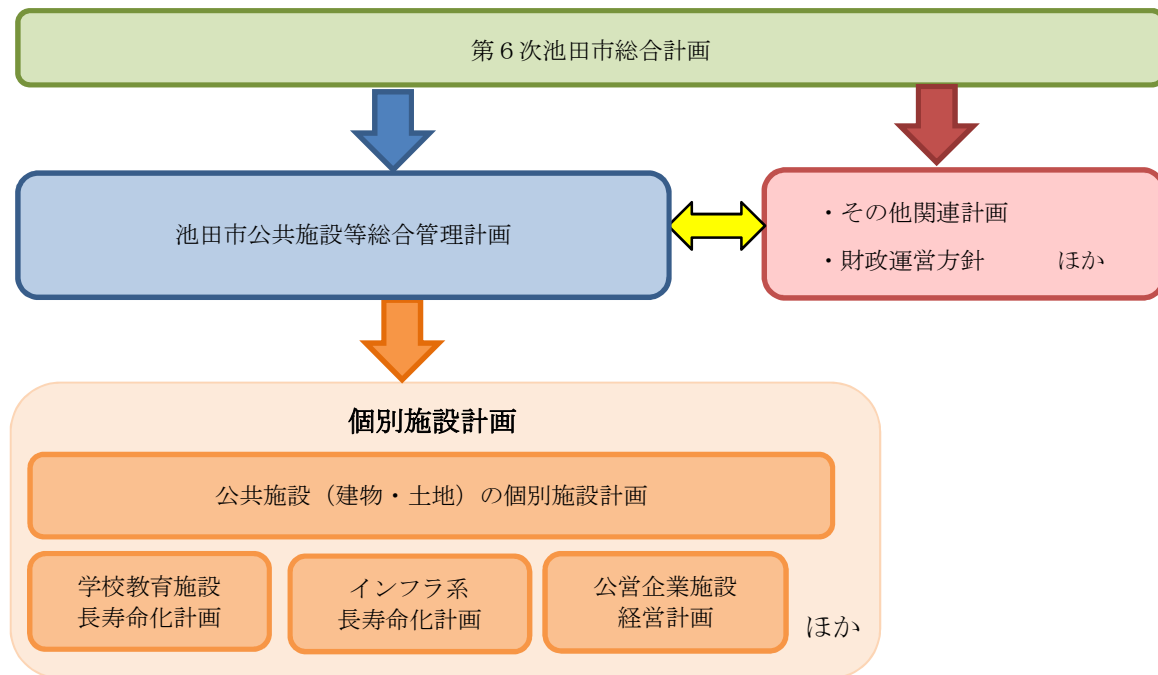
本市では、戦後から高度経済成長期を経て、人口急増や経済成長を伴いながら公共施設やインフラ（以下「公共施設等」といいます。）を整備してきました。現在、それらの公共施設等は少なからず老朽化が進んでおり、機能面及び安全面を確保するための改修、更新が必要な時期を一斉に迎えています。

しかし、人口減少や高齢化が切実な問題となっている昨今において、当時の公共施設等のすべてを更新することは困難であり、今後においては財政状況などを踏まえながら、長期的な視点を持って計画的に施設の更新や、統合・廃止等を含めた再配置を進めていく必要があります。

そのような背景から、本市における公共施設等の現状を把握し、今後の方向性を定めるために、平成28年3月に策定した「池田市公共施設等総合管理計画（以下「公共施設等総合管理計画」といいます。）」を踏まえ、施設ごとの実施方針を示す計画（以下「個別施設計画」といいます。）を策定するものです。

(2) 個別施設計画の位置づけ

個別施設計画は、上位計画である池田市公共施設等総合管理計画の内容に即し、他に関連計画や財政運営との整合を図ります。



(3) 個別施設計画の対象施設

公共施設等総合管理計画と同様に、本計画の対象は公共施設（建物）のほか、道路、橋梁等のインフラ施設や土地を含む公共施設等とし、令和 2 年度までに本市の公共施設等のすべての分野において策定することとします。

なお、個別施設計画の内容に準じる計画を既に策定している施設、小学校、中学校等の学校教育施設、道路、橋梁等のインフラ施設、市立池田病院や上下水道施設といった公営企業施設については、関係省庁の行動計画や策定指針等を踏まえつつ個別施設計画に求められる事項に留意した上で、既存の個別施設計画を別名改訂して対応（又は新たに策定）する等して整理します。

(4) 個別施設計画の対象期間

個別施設計画の期間は、原則計画策定年度より 10 年間として設定します。なお、社会情勢や本市の政策動向等によって公共施設等を取り巻く環境は変化し得るため、対象施設の方向性が変更される都度、計画内容の見直しを適宜行います。

所管課	
-----	--

〇〇系施設

行政財産や普通財産などの財産区分

施設分類表参照

ページ数

財産区分	〇〇財産	中分類	〇▲▲				1/3					
対象施設	施設No.	小分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	構造	耐震性					
	施設分類表参照						<ul style="list-style-type: none"> ・有り（新） ・有り（旧） ・未診断 ・補強済 ・未補強 					
施設の概要												
設置目的												
小分類ごとの施設の設置目的について記載												
運営主体												
現在の運営主体について記載												
現状と課題												
<p style="text-align: center;">施設ごとに現状と課題について記載</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設概略（利用方法、管理・運営方法など） (2) 劣化状況（築年数の経過による劣化状況や改修状況等） (3) 利用状況などの推移 (4) 維持管理コスト (5) 配置状況 												
対策の優先順位の考え方及び機能別再配置方針												
再配置手法	集約化	○	複合化	○	機能統合	○	民間活用	○	広域連携	○	転用	○
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <p>公共施設等の総延床面積の見直しを進めるため、更新等の対策を行う前に機能別に「集約化」「複合化」「機能統合」「民間活用」「広域連携」「転用」の可能性を検討する (参考：池田市公共施設等総合管理計画)</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>機能別の再配置方針及び対策の優先順位について記載</p> <p>【例：再配置方針】 原則コミュニティの単位である小学校区に1施設を基準とする</p> <p>【例：対策の優先順位】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 建物の安全性 (2) 建物の管理の方向性 (3) 利用状況 <p>※長寿命化させる場合、「法定耐用年数」を超える「使用目標年数」を定める</p> </div> </div>												

行政財産	中分類	小分類	2/3
一次評価結果		施設ごとに現状について定量的に評価	ページ数
個別施設ごとに建物（ハード）面、機能（ソフト）面から定量的に評価した結果を表すポートフォリオを記載。評価単位に1施設しかない場合はポートフォリオを作成できないため、建物状況、利用状況、コスト状況の推移や他市の同類施設との比較結果等を記載する。			
【機能】 ソフト面（偏差値）	<p>【建物方針の検討】</p> <p>建物の長寿命化や建物性能の良い施設への機能の集約・複合化、民間施設の活用や適正規模への建て替えにより、建物性能の向上を図る、または広域連携により機能の維持を図る施設。</p> <p>更新 50</p>	<p>【現状維持】</p> <p>建物、機能ともに評価が高い施設であり、長寿命化などを行いながら今後も維持していく施設。</p> <p>50 維持 高</p>	↑高 ↓低
	<p>【抜本的見直し】</p> <p>建物、機能ともに評価が低い施設であり、現状の機能を他機能と統合または廃止したうえで、施設の解体、売却する施設。</p> <p>廃止</p>	<p>【施設利用方針の検討】</p> <p>運営形態の見直しなどにより機能の向上を図る。もしくは現状の機能を他施設へ集約・複合化する、民間施設を活用などして機能を移転する、また他機能との統合により現況施設を転用し、機能の向上を図る施設。</p> <p>低 転用</p>	
【建物】ハード面（偏差値）			
利用圏域区分	機能の利用圏域区分の整理結果について記載		
二次評価結果		機能について定性的に評価	
公共性（法律により設置が義務付けられているか）			
機能について法律による設置義務があるか記載			
有効性（利便性、今後の利用見込み）			
立地条件、交通機関など施設の利便性はいいか、今後の少子高齢化・人口減少を踏まえ、利用状況の改善が見込まれるか等を記載			
代替性（類似機能を持つ民間施設・公共施設で代替可能か）			
機能が同種又は同類の民間施設や公共施設で代替できるか記載			
効率性（コストの改善が見られるか。維持管理・運営面で民間活用が可能か。適切な受益者負担が行われているか）			
維持管理・運営面で民間活用や、受益者負担の見直し等によりコスト改善が見られるか記載			
個別実施方針			
施設No	施設名称	実施方針	詳細
1	「維持」「更新」「転用」「廃止」の4つから選択して記載		機能別の再配置方針、対策の優先順位及び施設別の一次評価、二次評価の結果を踏まえ、個別施設ごとに今後の実施方針を記載
2			
3			
特記事項	施設別の実施方針等に関する特記事項を記載		

スケジュール		今後10年の対策とその費用見込み	(百万円)		公開用
施設 No.	施設名称	内容	前期	後期	合計
			R元～5年度	R6～10年度	
1		工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源			0
2		工事種別			-
		事業費			0
		国府支出金			0
		地方債			0
		その他 一般財源	0	0	0
3		工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0	0	0
4		工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0	0	0
合計		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0

集約・複合化、廃止等する施設については今後の実施時期・対策費用見込みを記載
 長寿命化する施設については施設の修繕履歴、改修サイクルを基に、部位別の改修計画を記載（費用は概算）。

市民文化系施設

対象施設		中分類	② 集会施設			1/3
No.	小分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	構造	耐震性
1	共同利用施設	神田会館	501.3	昭和44年 (1969年)	RC造	未補強
2		豊島南会館	536.6	昭和46年 (1971年)	RC造	未診断
3		住吉会館	650.8	昭和46年 (1971年)	RC造	未診断
4		呉服会館	500.0	昭和48年 (1973年)	RC造	有(新)
5		秦野会館	532.1	昭和48年 (1973年)	RC造	未補強
6		豊島北会館	504.0	昭和49年 (1974年)	RC造	未診断
7		池田会館	501.2	昭和50年 (1975年)	RC造	未診断
8		早苗の森会館	501.4	昭和50年 (1975年)	RC造	未診断
9		井口堂北会館	500.0	昭和51年 (1976年)	RC造	未補強
10		神田北会館	505.4	昭和52年 (1977年)	RC造	未診断
11		宇保会館	504.0	昭和53年 (1978年)	RC造	未診断
12		城南会館	502.6	昭和53年 (1978年)	RC造	未診断
13		空港会館	504.5	昭和54年 (1979年)	RC造	未診断
14		鉢塚会館	504.9	昭和54年 (1979年)	RC造	未診断
15		五月丘会館	503.5	昭和54年 (1979年)	RC造	有(新)
16		脇塚会館	504.6	昭和55年 (1980年)	RC造	未診断
17		桃園会館	500.0	昭和55年 (1980年)	RC造	未診断
18		上池田会館	500.0	昭和55年 (1980年)	RC造	未診断
19		旭丘会館	500.0	昭和56年 (1981年)	RC造	未診断
20		渋谷会館	500.0	昭和56年 (1981年)	RC造	未診断
21		南畑会館	532.5	昭和57年 (1982年)	RC造	有(新)
22		荘園会館	310.9	昭和57年 (1982年)	RC造	有(新)
23		花園会館	500.0	昭和57年 (1982年)	RC造	有(新)
24		石橋北会館	500.0	昭和58年 (1983年)	RC造	有(新)
25		宮之原会館	100.0	昭和58年 (1983年)	RC造	有(新)

様式1

26	石橋駅前会館	560.0	昭和58年 (1983年)	RC造	有(新)
27	中之嶋会館	100.0	昭和59年 (1984年)	RC造	有(新)
28	河原島会館	100.0	昭和59年 (1984年)	RC造	有(新)
29	姫室・室町会館	539.4	昭和60年 (1985年)	RC造	有(新)
30	北神田会館	100.0	昭和60年 (1985年)	RC造	有(新)
31	池田駅前北会館	353.6	昭和60年 (1985年)	RC造	有(新)
32	池田駅前南会館	358.2	昭和62年 (1987年)	RC造	有(新)

施設の概要

設置目的

大阪国際空港に発着する航空機の騒音により生活が阻害されている周辺地域の市民の障がい緩和に資するため、学習、集会等の用に供することを目的とする。(根拠法令:航空機騒音障害防止法)

運営主体

指定管理者

現状と課題

【概要】

航空機騒音の対策として設置されており、保育室、大集会室、小集会室、休養室(和室)、料理実習室、学習室等を有する地域の集会施設である。

その後航空機騒音対策区域が変わり、現在の騒音区域内に位置する施設は5会館(神田会館、豊島南会館、中之嶋会館、河原島会館、北神田会館)。

また、池田駅前北会館及び池田駅前南会館については民間施設内に設置し、秦野会館については市営住宅秦野住宅G棟の一部に設置。

運営委員会が雇用する管理人が住み込みで施設の受付や清掃等施設の維持管理を行っている。ただし宮之原会館、中之嶋会館、河原島会館、北神田会館の4会館は管理人が不在であり、集会室と休養室のみの小規模施設である。

設立当初から、地域に必要とされ利用されてきたが、近年どの会館も利用者は減少傾向にある。また、年々経年劣化に伴う修繕費用等が増加の一途をたどる状態である。主な課題は次のとおりである。

1. 建物品質

・32会館中旧耐震で耐震診断未実施の会館は、休館中の脇塚会館を除き14会館ある。

・築年数の経過に伴う雨漏りや外壁、内装のひび割れ、建具の錆などが各会館に見られる。また、空調機・給排水管など、修繕が必要な箇所が多く、バリアフリー化がなされていない会館が多数ある。

例年において発生する台風や地震などにより、屋根、外壁の飛散やガラス破損、天井材の落下、配管の破損など、経年劣化に伴う被害が多数発生した。中には近隣へ被害をもたらす程に老朽化が進んでいる。

2. コスト

・経年劣化に伴い施設の緊急的な修繕が増えている。また、早苗の森会館・神田北会館・鉢塚会館・脇塚会館については借地のため、賃借料が発生している。

3. 利用状況

・市内に多数施設が点在するため、市内居住者にとって立地はそれほど影響しないと考えられるが、平成29年度で利用者数上位4会館(池田駅前南会館、井口堂北会館、姫室・室町会館、池田駅前北会館)は比較的駅から近い会館であった。しかし利用者数は総じて減少傾向にある。

4. その他運用面での課題

・住み込み管理人の高齢化及びなり手不足により、脇塚会館が平成30年10月より休館中。その他の会館でも近年管理人の高齢化が進んでおり、管理人によらない施設管理のあり方について今後の検討事項である。

対策の優先順位の考え方及び機能別再配置方針												
再配置手法	集約化	○	複合化	○	機能統合	○	民間活用	○	広域連携	-	転用	○
<p>【対策の優先順位】 ①建物の安全性 ②コスト改善 ③利便性 安全性の確保が最優先のため、利用者の安全に関わるような不具合が発生するおそれのある会館から改修・修繕が必要。 また、大規模な改修については、耐震性の有無、利用者数の多寡、会館へのアクセスの状況等利便性も考慮し、優先順位をつけて対策を行う。</p> <p>【再配置方針】 集約化や他施設との複合化、機能統合、民間施設の活用及び転用は可能。 指定緊急避難場所であること、会館利用者数、会館の利便性、航空機騒音対策区域内施設であること、などを踏まえながら最適配置を検討する。</p>												

行政財産	中分類	集会施設	小分類	共同利用施設	1/3
一次評価結果					
<p>※評価方法について 類似機能を持つ共同利用施設及びコミュニティセンターは「地域集会施設」として一体評価を実施。 公共施設全体における共通項目として、ハード面で劣化状況(耐震化含む)、バリアフリー状況、ソフト面でコストを評価し、地域集会施設の性質に鑑みてソフト面の評価に利用者数、稼働率の項目を追加して評価した。 以上の項目を総合的に判定し、ソフト面・ハード面を分けて偏差値として示した。</p>					
<p>※表中施設名称について 施設名称中の「会館」は全て省略。その他一部省略している施設の正式名称は下記のとおり。 伏尾台第1→伏尾台コミュニティセンター第1会館、伏尾台第2→伏尾台コミュニティセンター第2会館、 細河→細河コミュニティセンター</p>					
利用圏域区分		地域施設			
二次評価結果					
公共性 (法律により設置が義務付けられているか)					
必置ではないが、5会館(神田会館、豊島南会館、中之嶋会館、河原島会館、北神田会館)は航空機騒音区域内に位置しており、行政課題の解決策として取り組むべきと認識している。					
有効性 (利便性、今後の利用見込み)					
利用者数増減をくり返しているもしくは減少しており、今後の大幅な利用者数増は困難である。特に空港会館や豊島南会館は立地条件が悪い。					
代替性 (類似機能を持つ民間施設・公共施設で代替可能か)					
類似する公共施設として、共同利用施設が市内に32館あることから代替性があり、特に池田市立コミュニティセンターは池田会館と近接している状況にある。 また地域が管理する集会施設として市内に普通会館が20館あり、代替可能である。					
効率性 (コストの改善が見られるか。維持管理・運営面で民間活用が可能か。適切な受益者負担が行われているか)					
平成16年度から指定管理者制度を導入し、維持管理・運用面で効率化を図っているものの、全施設老朽化のため維持管理面でコスト増が見込まれる。また管理人制度のあり方について、今後検討が必要。受益者負担の見直しについては、市の方針のとおり定期的に検証する。					

個別実施方針			
施設No	施設名称	実施方針	詳細
1	神田会館	維持	一次評価の結果、築49年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、神田地域内で主要な会館であり、航空機騒音対策区域内に位置していることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
2	豊島南会館	維持	一次評価の結果、築47年を経過し老朽化が進行していることから建物性能は低く、立地条件の悪さから利用者が少なくなっているものの、航空機騒音対策区域内に位置していることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
3	住吉会館	維持	一次評価の結果、築47年を経過し老朽化が進行していることから、建物性能が低くなっているが、住吉地域で唯一の共同利用施設であることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
4	秦野会館	維持	一次評価の結果、築45年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっている。また当該施設は秦野住宅の一部であることから、市営住宅の長寿命化計画を踏まえながら今後のあり方を検討する。
5	呉服会館	維持	一次評価の結果、築45年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、立地も良く、利用者数も比較的多いことを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
6	豊島北会館	維持	一次評価の結果、築44年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、今後も必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
7	池田会館	更新	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が拠点として施設を活用している一方で、1次評価の結果、旧耐震施設であり、かつ老朽化が進行しており維持管理経費の負担が大きい ・2次評価のとおり集会施設として同機能を持つコミュニティセンターが近接していること <p>を踏まえ、コミュニティセンターと統合し、池田会館側へ集約・複合化し、池田会館を(仮称)池田地域交流センターとして建て替える。</p>
8	早苗の森会館	維持	一次評価の結果、築43年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、平成29年度実績で利用者数が6位と比較的多いことを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
9	井口堂北会館	更新	<ul style="list-style-type: none"> ・1次評価の結果、築42年を経過し老朽化がしていることから建物性能は低いものの、利用者の多さや稼働率の高さ、コスト面からも施設性能が高いこと ・地域の拠点施設となっていること ・地域から特定目的の寄付を受けたことを踏まえ、法定耐用年数47年に対して、「池田市公共施設等総合管理計画」に準じ、施設の使用目標年数を65年と設定し、施設の長寿命化・バリアフリー化への対策を行う。
10	神田北会館	維持	一次評価の結果、築41年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、神田地域内で主要な会館であることも踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。

11	宇保会館	維持	一次評価の結果、築40年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、平成29年度実績の利用者数が比較的上位であることや立地のよさを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
12	城南会館	維持	一次評価の結果、築40年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、平成29年度実績の利用者数が比較的上位であることや立地のよさを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
13	空港会館	維持	一次評価の結果、利用者数が少ないことからソフト面の評価が低くなっている。しかし、空港地域に共同利用施設が1館のみであり、地域にとって不可欠な会館であることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
14	鉢塚会館	維持	一次評価の結果、築40年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、池田駅、石橋駅の間に位置し、鉢塚地域では唯一の共同利用施設であることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
15	五月丘会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。
16	脇塚会館	維持	現在管理人の不在により休館状態であることを踏まえ、今後最適配置を検討する。
17	桃園会館	維持	一次評価の結果、築38年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、平成29年度の利用者数が比較的上位であったことを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
18	上池田会館	維持	一次評価の結果、築38年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、立地の良さを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
19	旭丘会館	維持	一次評価の結果、築37年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低くなっているが、都度必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
20	渋谷会館	維持	一次評価の結果、平成29年度の修繕コストが高いことから、ソフト面での評価が低くなっているが、渋谷地域に共同利用施設が1館のみであり、地域にとって必要不可欠な施設であることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
21	南畑会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。
22	荘園会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。
23	花園会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。
24	石橋北会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。

	25	宮之原会館	維持	一次評価の結果、築35年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低く、利用者数が少ないため、ソフト面での評価も低くなっているが、自治会等地域活動での利用が多くを占め、地域に必要な会館となっていることから、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
	26	石橋駅前会館	更新	平成28年3月「石橋未来夢プラン2030」にて地域から石橋会館、石橋駅前会館の活用が提言されたことを受け、周辺の天神会館とともに 集約化 、また図書館施設等との 複合化 を行い、石橋駅前会館を (仮称)石橋地域拠点施設 として建て替える。
	27	中之嶋会館	維持	一次評価の結果、築34年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低く、利用者数が少ないため、ソフト面での評価も低くなっているが、航空機騒音対策区域内に位置していることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
	28	河原島会館	維持	一次評価の結果、築34年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低く、利用者数が少ないため、ソフト面での評価も低くなっているが、航空機騒音対策区域内に位置していることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
	29	姫室・室町会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。
	30	北神田会館	維持	一次評価の結果、築33年を経過し老朽化が進行していることから建物性能が低く、利用者数が少ないため、ソフト面での評価も低くなっているが、航空機騒音対策区域内に位置していることを踏まえ、必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努めながら、最適配置を検討する。
	31	池田駅前北会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。大規模改修については、ステーションNビルに順ずる。
	32	池田駅前南会館	維持	必要に応じた修繕を実施し、適切な維持管理に努める。大規模改修については、サンシティ池田に順ずる。
特記事項	<p>天神会館は平成28年3月「石橋未来夢プラン2030」での提案を受けて石橋会館(以下「旧石橋会館」という。)、石橋駅前会館との集約・複合化し(仮称)石橋地域拠点施設へ建替えるため、平成31年3月末をもって共同利用施設としての用途を廃止した。</p> <p>また、旧石橋会館は平成30年3月末をもって廃止し、平成30年度中に新たな石橋会館として、規模を縮小し平屋へ建て替え(平成31年4月供用開始)たため、本計画の評価対象外とした。</p>			

スケジュール			(百万円)		公開用
施設 No.	施設名称	内容	前期	後期	合計
			R元～5年度	R6～10年度	
1	神田会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
2	豊島南会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
3	住吉会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
4	呉服会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
5	秦野会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
6	豊島北会館	工事種別	改修工事		-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
7	池田会館	工事種別	設計・解体・建築		-
		事業費	46		467
		国府支出金	20		202
		地方債	22		222
		その他 一般財源	0 44		0 44
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> (仮称) 池田地域交流センターとして R4年度供用開始 </div>					
8	早苗の森会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
9	井口堂北会館	工事種別	大規模改修		-
		事業費	104	0	104
		国府支出金	0	0	0
		地方債	84	0	84
		その他 一般財源	20 0	0 0	20 0

スケジュール			(百万円)		公開用
施設 No.	施設名称	内容	前期	後期	合計
			R元～5年度	R6～10年度	
10	神田北会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
11	宇保会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
12	城南会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
13	空港会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
14	鉢塚会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
15	五月丘会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
16	脇塚会館	工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
17	桃園会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
18	上池田会館	工事種別	改修工事	改修工事	0
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0

スケジュール			(百万円)		公開用
施設 No.	施設名称	内容	前期	後期	合計
			R元～5年度	R6～10年度	
19	旭丘会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
20	渋谷会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
21	南畑会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
22	荘園会館	工事種別		改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
23	花園会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
24	石橋北会館	工事種別		改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
25	宮之原会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
26	石橋駅前会館	工事種別	設計・解体・建築		-
		事業費	450		450
		国府支出金	223		223
		地方債	201		201
		その他 一般財源	0 26		0 26
27	中之嶋会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0

(仮称)石橋地域拠点
施設としてR4年度
供用開始

スケジュール				(百万円)	公開用
施設 No.	施設名称	内容	前期	後期	合計
			R元～5年度	R6～10年度	
28	河原島会館	工事種別	改修工事	改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
29	姫室・室町会館	工事種別		改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
30	北神田会館	工事種別		改修工事	-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
31	池田駅前北会館	工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
32	池田駅前南会館	工事種別			-
		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他 一般財源	0 0	0 0	0 0
合計		事業費	0	0	0
		国府支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0